



## ひと味違った宇宙の楽しみ方を伝えたい

「宇宙」と聞いて何を思い浮かべるでしょう。星座、星占い、ロケット、あるいは天文学。答えは人によってさまざまでしょう。私たち天文学を研究している学生は、その中でもとくに「天文学」というつながりで宇宙を楽しんでいます。宇宙は多くの秘密を隠していますが、同時に秘密に迫るために鍵もまた多く与えてくれています。私たち天文学に魅せられた学生は、この鍵を探し、宇宙の秘密に迫ることを楽しんでいます。

この楽しみ方を知るには、とくに難しい勉強がいるわけではありません。ちょっとしたきっかけがあればいいのです。少し例を挙げてみましょう。例えば、星空を見上げるといろいろな明るさの星が目に入るでしょう。とてもきれいです。しかし、ちょっと考えてみましょう。なぜ星は同じ明るさに見えないのでしょうか。もしすべての星の本当の明るさが同じなら、明るく見える星は近く、暗く見える星は遠いと考えることができます。こう考えて星空を眺めると、星までの距離が全然違うらしいことに気がつき

ます。しかし、すべての星の本当の明るさが同じだなんてことがあるのでしょうか。もし本当の明るさが違う場合は、どのくらい違うのでしょうか。こうやって考えを進めていくこと、それ自体がすでに「天文学」であると言えます。現在、天文学者がすばる望遠鏡などを使って行なっている最先端の研究も、すべてはこのようなふとした疑問に端を発しているのです。

当たり前だと思っていても、ちょっとと考えみると不思議なこと。宇宙にはこんな不思議がいっぱい詰まっています。私たちは、多くの人と「天文学」を楽しみたいと思っています。「天文学とプラネタリウム」、略して天プラ。天プラは天文学を研究する学生が立ち上げた天文学普及プロジェクトです。学生とプラネタリウムに代表される科学系教育施設が協力し、天文学の楽しみ方をこれまでとはひと味違ったいろいろな方法で発信していきたいと思います。このコラムでは、次回からそのようすを紹介していきます。

The screenshot shows the homepage of the website 'http://www.io.a.s.utokyo.ac.jp/takanashi/tenpla/'. The header features the title '天文とプラネタリウム' and a search bar. Below the header, there's a large image of a starry sky. The main content area has sections for 'TOPICS' and 'NEW' posts, and links to '天文学とプラネタリウム' and '天文学とプラネタリウム'.

### 新連載

「天文学とプラネタリウム」  
ホームページ  
<http://www.io.a.s.utokyo.ac.jp/takanashi/tenpla/>

#### ■高梨直総

東大M2/天文学教育研究センター所属

子供の頃は地球大紀行に多大な影響を受け、地球物理学者になると放言。中高の地学の授業を通じ、興味が徐々に天文学に移り、現在に至る。趣味は星見を兼ねた夜釣り。専門は観測的宇宙論。簡単に言えばハイワイ。



#### ■平松正顕

東大M2/国立天文台ALMA推進室所属

小学生の頃から宇宙に興味を持ち、SL9の時に買った SKY WATCHER で天文学に目覚める。現在は電波天文学を専攻し、星・惑星系形成領域の観測的研究を行いつつ、各種天文学普及活動に携わっている。簡単に言えばチリ。